

## 活動報告書

団体名	イングリッシュガーデン
事業名	第二回四條畷アートカーニバル
事業実績の概要 (月日、参加者数等)	<p>4月10日から準備開始。</p> <p>FACE BOOK 並びにインスタ投稿開始。</p> <p>会場の設定をする。</p> <p>第一回四條畷アートカーニバルと同じ場所でのお願いにあがる。</p> <p>前回7カ所であったが、会場の一つ「伊勢屋」が閉店していたため、空き家屋であった「元チロル堂」が代わりの場所となり、前回と同様7カ所の会場となる。</p> <p>6月31日公募作家締め切り（口こみと四條畷広報のみでの募集）</p> <p>7名が参加。</p> <p>7月、A4フライヤー作成。A2ポスター作成。</p> <p>8月 四條畷市の協力をとる。</p> <p>9月 A3二つ折りパンフレット完成。</p> <p>9月 四條畷教育委員会に資料提出、各学校にフライヤーを設置していただく。</p> <p>9月26日金～9月28日日、商工会主宰のオクトーバーフェストにてフライヤー配布やステージにあがったのPRをスタッフたちや有志が行う。</p> <p>9月～11月 四條畷市内の協力して下さる学校や施設にフライヤーの配布、ポスターを持参する。</p> <p>四條畷学園、中学・高校、生徒配布、大学ポスター掲示・フライヤー設置、四條畷高校、生徒配布、幼稚園などの他、美容室、喫茶店などにも設置していただく。</p> <p>10月7日、特別展示の「原爆投下直後の被災小学校からワシントンDCに届けられた48枚の絵」本の執筆や映画化のプロデューサー、静美マナーレ氏が来日、読売新聞の取材をセッティングする。</p> <p>10月28日火曜日記事になる。</p> <p>10月28日「原爆投下直後の被災小学校からワシントンDCに届けられた48枚の絵」の事務局がある広島市に静美マナーレ氏と実行委員長とスタッフが訪問。事務局の方々と、当該小学校の現在の校長先生や数カ所の原爆資料館に足</p>

	<p>を運び概要を把握する。</p> <p>10月25日～29日。元チロル堂が展示にふさわしい会場となるよう、運営委員、ならびにその場所の賃貸主である谷口智則氏、ならびにスタッフの方々と片付け、雑草取り、清掃を数日間行い素敵な会場となる。</p> <p>10月31日 A4フライヤー8000枚、A3二つ折りパンフレット1万部を読売新聞の折り込みとして四條畷市、大東市に配布</p> <p>11月5日～11月7日各会場で搬入・設営開始。</p> <p>11月7日金曜日 NHK ラジオの生放送の取材を受ける</p> <p>11月8日土曜日、第二回四條畷アートカーニバル開幕</p> <p>11月16日日曜日 第二回四條畷アートカーニバル閉幕</p> <p>展示会場の希望により、二カ所（ズーロジック。カフェノッカ）で一週間展示延長。</p>
<p>事業の効果</p>	<p>昨年よりも知名度がアップされ、初日は各会場 150 人動員（池田屋は 220 人）1120 名の来場があった。</p> <p>前回より開催日数は一日少なかった 9 日間であったが、前回は大幅に上回る延べ 5800 人程度の来場があったと認識される。</p> <p>来場者の方々が、みなさん驚かれたのはメインアーティストの知名度と作品のクオリティーで 「もっとみていただかないともったいない」というレベルであった。</p> <p>四條畷市の公募作家であっても、書道を始め大変クオリティーが高く、イベントの内容に関しては高評価をいただいた。</p> <p>また、原画が 7 枚販売につながるなど、作家自身にも貢献した。（このようなイベントでは作品販売が難しいので、招待金を出してきていただくのだが、販売につながったことでアーティスト内でも高評価となる）</p> <p>市会議員、府会議員、デパート企画、映画監督、作家、その他のアートイベント絡みの肩書き者多数来訪。</p>
<p>参加者からの声</p>	<p>○こんな素晴らしいものがこんなところで見れる、しかも無料で</p> <p>○質の高いアーティストが四條畷市にいたんなんで。</p> <p>という声が圧倒的多数。</p> <p>○この企画をここでしかないなんてもったいなさすぎる。</p> <p>○四條畷市がやっているのかと思った。（100人以上）</p> <p>内容に関して不満足なものは一つの意見もなかった。</p>

	<p>マイナスな意見は全て場所に関する問題</p> <p>○元チロル堂、えにし庵がわからなすぎて行くのを断念。</p> <p>○四條畷神社が駅から遠く、バスもなく階段ばかりで行く気が起こらない。</p>
今後の課題点、改善点等	<p>色々なイベントと重なったので最終日の有料イベントの集客が減った。(時期再考)</p> <p>まだまだプロモーションが必要。</p> <p>高尚なアートばかりでなく、絵本作家フェスなど親子で楽しめるアートもプラスしていくという谷口氏からの意見も。</p> <p>A4 フライヤーは不要。</p> <p>A3 二つ折りパンフだけにして、新聞折り込みに3万部ぐらいかけてはどうか。</p> <p>開催場所の不便さ、もっとわかりやすいMAPの作成</p>
今後の展望	<p>第三回四條畷アートカーニバルは2027年5月に開催予定。</p> <p>谷口智則氏の美術館が2027年春に完成予定とのことで、それに合わせて開催したい。(集客とPRを考え)</p>
事業の自立に向けた計画	<p>有償のパフォーマンスをもっと集客できる内容にする。</p> <p>メインアーティストを一人、招待作家を減らす。</p>